

## 【R2.12月末実績に対する意見・回答】

事業番号	事業名	R2.12月末事業実績	意見内容	回答	委員
4	地域商社活用事業	<p>■圏域の農水産物や食品加工品を中心に圏域外への販路開拓と販売を行う商品流通事業を行ったが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響に伴い、県外への出張を大幅に制限。ウェブによる商談を活用するほか、実働においても、圏域産品の有力な受入先となりうる小売事業者を選択の上、集中的に商談を重ねた。</p> <p>■地域事業者と共同して新商品の開発や既存商品のリニューアル、パッケージング開発などを行う商品開発事業を行った。企画にあたっては、付加価値のある産品として持続的な将来展望が描けることを主眼に置いた。</p> <p>■最新デバイスを活用し実証実験を実施。また、デモンストレーションを通じて農家へ普及啓発を行った。また、従来実施していたセミナーに関しては、世情を鑑み、集合でのセミナーではなく、個別に農家訪問する形にて情報提供活動を行った。</p>	<p>・セミナーについては、ウェブではなく個別訪問なのか？</p> <p>・有力な受け入れ先とはどんなものか？</p>	<p>・スマート農業のセミナーに関しては、webではなく個別訪問にて実施。より実効性を高めるべく、現在生産者として取り組んでいる方を対象に行った。</p> <p>・関西を中心に食品スーパーマーケット等を店舗展開する事業者、および同社と取引のある卸売業者等。</p>	谷上委員
		<p>圏域の産業の発展には、「地産外商」の概念に基づく大消費地に向けた商流構築が必要であり、そのためには、BtoBの商流と間をつなぐ物流システムが絶対条件と思考。BtoC、PR、マッチングといった手法では実現しない。</p>	<p>BtoBを含めた生鮮食料品の物流に関して、公設卸売市場の再整備にあたり、既存システムの機能強化を図ることとしている。また、この機能強化の手法を確定する際に、地域商社を含む各種業種とのコラボレーションを検討していく。</p>	田賀委員	
12	農産物販路拡大支援事業	<p>鳥取市では、毎月第2・4金曜日土曜日に大阪市中之島で農産物や加工品を対面販売する「グリーンマーケット」を開催し、麒麟のまち圏域の農産物の委託販売も実施。→新型コロナウイルス感染症の影響で休止しており、その代替措置として、従前のグリーンマーケットの顧客等に対して農産物や加工品を宅配便（イチゴ、梨など）として配送。</p> <p>麒麟のまち特産品商談会を関西圏で開催。→新型コロナウイルス感染症の影響で中止となっているが、(株)地域商社ととりが個別に取引先等を訪問して商談（野菜、果樹）を実施している。（WEB商談は未実施）</p>	<p>・地域商社について、No.4と矛盾しているのではないかと（ウェブでの実施・未実施について）</p>	<p>ここで未実施としたWEB商談は「集合でのWEB商談会」の意。Zoomを活用した個別商談などは随時実施。</p>	谷上委員
14	農業担い手育成塾運営事業	<p>○圏域農業者対象の研修（スマート農業セミナー）の開催。</p> <p>新しい農業経営の一つのあり方を示し生産意欲の向上を図る。</p> <p>→新型コロナウイルス感染症の影響により中止</p> <p>○各町の農業担当部局を通じ、上記セミナーの開催を各町の新規就農者へPRを実施。</p> <p>→新型コロナウイルス感染症の影響により中止</p> <p>今後、圏域の新規就農者、認定農業者などの若手を中心に、オンライン上でのネットワーク構築に向けた情報交換や研修などを行う場の創設などの検討を始めてみたい。</p>	<p>・ウェブでの開催は検討されなかったのか？</p>	<p>状況を見ながら、令和3年度開催を検討中。</p>	谷上委員
		<p>○圏域農業者対象の研修（スマート農業セミナー）の開催。</p> <p>新しい農業経営の一つのあり方を示し生産意欲の向上を図る。</p> <p>→新型コロナウイルス感染症の影響により中止</p>		<p>状況を見ながら、令和3年度開催を検討中。</p>	谷上委員
15	農業IT化促進事業	<p>○圏域農業者対象の研修（スマート農業セミナー）の開催。</p> <p>新しい農業経営の一つのあり方を示し生産意欲の向上を図る。</p> <p>→新型コロナウイルス感染症の影響により中止</p>		<p>状況を見ながら、令和3年度開催を検討中。</p>	谷上委員

【R2.12月末実績に対する意見・回答】

事業番号	事業名	R2.12月末事業実績	意見内容	回答	委員
18	インターネットショップ推進事業	「とっとり市（いち）」関連規約を変更し、麒麟のまち圏域からの出店および生産された商品の取扱いを可能とした。 12月末現在で鳥取市域を除く同圏域から、8店舗（100商品）の出店があった。	・商品を出されていない店舗・売上げがない店舗がどのくらいあるのか？	・売上のない店舗 10店舗 ・商品を出していない店舗 現在は出品がない店舗 4店舗 季節商品のため出品がない店舗 2店舗 出品準備中 2店舗	谷上委員
28	砂のルネッサンス連携事業	鳥取砂のルネッサンス2020 ○プレイリーダー育成事業 ・目的 砂場を活用した遊びを提供できる人材を育成する。 ・内容 実行委員会向けに幼児教育の玩具メーカー（株）ポーネランドへ講師を依頼し、研修を行った。また、来年に向けた育成事業用のマニュアルを作成中。 ○幼保キャラバン事業 ・目的 鳥取市内にある幼稚園・保育園に向けてすなば遊びにおける課題に取り組む。 ・内容 各園へのアンケート調査やオンラインの勉強会を行う。 ○コロナ復興砂像制作事業 ・目的 市民やまちが元気を取り戻せるよう願いを込めて砂像を制作する。 ・内容 鳥取駅前風紋広場にて、風神雷神の砂像を制作し展示を行った。 ・期間 令和2年10月31日～令和2年11月17日	・幼保キャラバン事業と観光振興はどのようなつながりがあるのか？	鳥取砂のルネッサンス実行委員会では、本市の砂像文化醸成を図るため、「砂」に対する市民の興味を高め、「砂」を活用した砂像文化を国内外へ発信し、観光振興につなげることを目的としている。幼保キャラバン事業では、幼少期から「砂」と触れ合う機会を作ることで、興味や関心を高め、市民の興味が高まることが期待される。	谷上委員
30	国際経済交流推進事業	(1) 企業の海外進出及び海外販路開拓等の海外展開に関する貿易相談・サポート →オンラインを活用し、現地とのやり取りをサポートしたほか、越境EC等の取組の周知を強化した。 (2) 海外商談会・経済ミッション等支援及びマッチング →新型コロナウイルス感染症の影響により、海外商談会への参加や来訪団体とのマッチングは実施できなかった。 (3) 国際観光（通訳等）の推進やインバウンド需要の取り込み。 (4) 翻訳・通訳支援（主に企業・行政等対応） →新型コロナウイルス感染症の影響によるインバウンド客の減少により、件数は例年を大きく下回った。	・どのような業態・業種が多かったのか。 ・年度末見込みは数字が増えているが、12月末以降に何か違いがあるのか。	・健康補助食品（サプリメント）、飲食業（加工品）、化粧品（石鹸）、酒業種が多い。 ・コロナ禍においても一定数の相談件数があり、年度末までの増加を見込んだもの。	谷上委員